## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

11-275286

(43)Date of publication of application: 08.10.1999

(51)Int.C1. H04N 1/00 H04D 1/38 H04B 1/65 H04B 11/00 H04N 1/21 H04N 1/31

(21)Application number: 10-073638 (71)Applicant: RICOH CO LTD

(72)Inventor: OSANAI TOSHITAKA

23.03.1998

(22)Date of filing:

## (54) COMMUNICATION EQUIPMENT

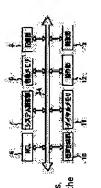
(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To speedily know the

reception of image information at the destination of visit, further, to speedily and surely transfer image information stored in an image memory to the designated destination of transfer as it is and moreover to prevent recording

paper from being wasted.

SOLUTION. When an absence mode is set during the SOLUTION. When an absence mode is set during the absence of an operator and image information is received while this absence mode is set, the image information is stored in an image memory 8, afterwards, the reception of the image information is reported to the portable telephone of a telephone number stored in a dial memory 11 and when a signal designating the destination to transfer the image information is inputted from the portable telephone, the image information is transmitted to facsimile equipment at the designated



## LEGAL STATUS

destination of transfer.

[Date of request for examination]

Date of sending the examiner's decision of

[Kind of final disposal of application other than

rejection]

the examiner's decision of rejection or application converted registration

application converted registration]
[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision

of rejection]

Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection] [Date of extinction of right]

•

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(18) 日本国特許庁 (JP)

(12)公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

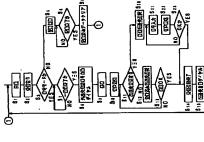
ပ 特開平11-27528

(43)公開日 平成11年(1999)10月8日

						(全14頁) 弘辞頁に続く		目3番6号		目3番6号 株式会					
	104 Z	I	303		2	(全1,	000006747 核式会社リュー	東京都大田区中馬达1丁目3番6号	小山内 被極	東京都大田区中馬込1丁目3番6号	Ę	: 有我 單一郎			
	00/1	1/65	00/11	1/21	1/32		00000年	東京	子田子	東京都	件リコー内	并理十			
I d	H04N	H04M		H 0 4 N		10	(71)出題人 000006747 株式会社 1		(72)発明者	-		(74)代理人			
撰印記号	104			303		春査請求 未請求 請求項の数5	<b>特題平10-73638</b>	平成10年(1998)3月23日							
	1/00	1/38	1/65	11/00	1/21	伸									
(51) Int. C1.6	H04N	H04Q	H04M		H04N		(21) 出題各号	(22) 出題日							

## (54) 【発明の名称】通信装置

【瞬題】 本発明は、外出先で画情報を受信したことを **速やかに知ることができる上に、画像メモリに蓄積され** た画情報を指定された転送先にそのまま迅速、かつ確実 に転送することができ、さらに、記録板が無駄に消費さ れるのを防止することができる通信装置を提供するもの 【解決手段】 オペレータの不在時に留守モードを設定 し、この留守モード設定時に画情報を受債したとき、画 とをダイヤルメモリ11に格納された電話番号の携帯電話 5に蝦却し、携帯包括5から画情報の転送先を指定する 信号が入力したときに、指定された転送先のファクシミ 開報を画像メモリ8に齧指した後、画情報を受信したこ リ装置4に画情報を送信するようにした。



| 作作語状の範囲|

(帯水項1) 気怕した画情報を一時的に軽徴する画像メ **モリを有し、通信端末との聞で信号の授受を行なう通信** 

**校留守モード設 定時に画情報を受信したとき、数画情報** を前配画像メモリに蓄積した後、画情報を受信したこと 不在時の留守モードを設定する留守モード設定手段と、 を指定された通伯猶末に執知する制御手段と、 抜餌においた、

**竹配通信端末から画情報の転送先を指定する信号が入力** したときに、指定された転送先に画情報を送信する転送 手段と、を有することを特徴とする通伯装置。

する受信スタッカと、前記記憶部に記憶されている転送

先の電話毎号を序出したボーリング法値するボーリング

2

**想御部を設けたものから権戍されている。** 

[請求項2] 受信した画情報を記録出力する記録出力手

村記制御手段は、留中モード数定時に、前記画像メモリ の容量が所定値以下になったときに、受信した画情報を モリ内に画情報の一部を残して残りの部分を削除すると ともに、鮫画情報の一部を送信することを通信端末に載 析配記録出力手段によって記録出力した後、前配画像メ

る信号が入力したときに、指定された転送先に画情報の - 韶を送信することを特徴とする請求項1配数の通信装 竹記転送手段は、通信端末から画情報の転送先を指定す

【辞水項3】前記制御手段は、前記通位端末に報知の軒 位記転送手段は、前記通信端末から報知の不許可が指定 可および不許可を指定する値号を出力し、

[静水項4] 前配転送手段は、前配通知端末から蝦知の 下許可が指定されたときに、数定時間に強するまでに同 一の転送先に画情報を転送するとともに、 設定時間を超 されたときに、以後の画情報の受俗時から前配通信端末 えたときに、前配通信端末に報知の許可および不許可を 指定する伯号を出力することを特徴とする請求項3配載 に報知するのを停止し、同一の転送先に画情報を転送す 5ことを特徴とする請求項1または2配数の通信装置。

「静水項5」前記制御手段は、低送先の電話番号を音声 によって通信端末に報知することを特徴とする請求項1 ~4 何れかに配数の通信装置。

る通俗装置を提供することを目的としている。

発明の雑価な説明】

0001]

詳しくは、画情報を受信したことを即時に通信端末に戦 **古して指定された転送先に転送することができる通信装** 、発明の属する技術分野】本発明は、通信装置に関し、

[0002]

われると、この画情報を指定された相手先の通伯装置に するファクシミリ装置として、例えば、奥公平1-18 **(従来の技術) 近時のファクシミリ装置等の通信装置に かっては、 オペワータの不在時等に画情報の受信が行む 伝送する機能を有するものがあり、このような機能を有** 

特別平11-275286

3

子を行なう配録部と、送信原稿を競み取る観取部と、前 前的記録的で印字した受信紙を送信口に移送すべく移動 ラム等を記憶する記憶部と、ファクシミリ受信の記録印 記入/出力部、記憶部、記憶部および略取部を夫々制御 する制御節と、を有し、電話回線を介しての指令により 【0003】このものは、電話回線とファクシミリ装置 とを結合する入/出力部と、ファクシミリ送受信プログ 208号公報に配載されたようなものが知られている。

ミリ装置を呼出して画情報を受信したことが確認される と、記録的で印字した受信紙を送信口に移送して航取部 で餌み取った後、この画情報を転送先のファクシミリ装 [0004] このものは、外出先等の電話からファクシ **置に転送するようになっている。** 

[0008]

ことを外出先から強認しなければならないため、受信が あったことを速やかに確認するためにはファクシミリ装 置に頻楽に電話をする必要があり、確認作業が大変煩わ しいものとなってしまうとともに、確認のための眞話を しなければ受怕があったことを確認することができない 上に、外出先から転送の指示を行なわないと受信した画 情報を受取ることができないため、受任した画情報を転 送先で選やかに、かつ確実に受取ることができないとい うな従来のファクシミリ装置にあっては、受信があった [格明が解決しようとする瞑題] しかしながら、このよ **う問題があった。** 8

[0006]また、受信した画情報を一旦記録紙に記録 しまうという問題があった。そこで本発明は、外出先で にそのまま迅速、かつ確実に伝送することができ、さち した後、転送先に転送する際にはこの配録紙を轄取部に に、画像メモリに蓄積された画情報を指定された転送先 に、配録紙が無駄に消費されるのを防止することができ より耳厥既み取って悟波しなければならないため、固格 報が劣化する上に、送伯元の配録紙が無駄に消費されて 画情報を受信したことを速やかに知ることができる上

蓄積する画像メモリを有し、通伯端末との関で倡号の授 **曼を行なう通信装置において、不在時の留守モードを設** 定する留守モード数定手致と、数留守モード数定時に画 僚報を受控したとき、歓画情報を前配画像メモリに蓄積 した後、画情報を受信したことを指定された通信掲末に 報知する制御手段と、前配通信端末から画信報の転送先 を指定する信号が入力したときに、指定された転送先に 画情報を送信する転送手段と、を有することを特徴とし 上配課題を解決するために、受俗した画情報を一時的に 【課題を解決するための手段】請求項1配館の発明は、 [0007] <del>송</del>

送年段は、通信端末から画情報の転送先を指定する信号 情報の一部を送信することを通信端末に報知し、前配転 が入力したときに、指定された転送先に画情報の一部を [0009] 請求項2記載の発明は、上記課題を解決す は、留中モード数定時に、前記画像メモリの容量が所定 値以下になったときに、受信した画情報を前記記録出力 **年段によった記録出力した後、前記画像メモリ内に画情 報の一部を残して残りの部分を削除するとともに、 蚊画** るために、語水項1記載の発明において、安信した画情 報を記録出力する記録出力手段を有し、前配制御手段 送官することを特徴としている。

フローすると、通信中であっても通信終了を強制的に実 施したり、次の通信を行なうことができない等の不具合 に、受俗した画療報を記録出力して送信元から画情報を 【0010】このようにしたのは、画像メモリがオーバ すなわち、画像メモリの容量が所定値以下になったとき **再送信してもらうのを不要にして画情報を確実に受信す** が発生するため、画像メモリがオーバーフローする前、 るためである。 【0011】また、画像メモリがオーパーフローする場 **報知して、最低限の(一部の)受信画情報を転送先に送** 明は、上記県超を解決するために、請求項1または2記 数の発明において、前配制御手段は、前配通信端末に載 法手段は、前配通信端末から報知の不許可が指定された ときに、以後の画情報の受信時から前配通信端末に報知 伯することにより、転送先からでも画情報の送信元の特 定を行なうことができるようにして、転送先で画情報を 迅速、かつ確実に得ることができる。請求項3配載の発 知の許可および不許可を指定する信号を出力し、前記板 するのを停止し、同一の転送先に面荷報を転送すること 合であっても、画情数の受信があったことを通信端末に か幹徴としたいる。

記載の発明において、前記転送手段は、前記通知端末か [0012] その場合、一定の転送先にオペレータが長 時間居る場合等には、通信装置から受信があったことを により、何回も報知を受けるのを不要にしつり、転送先 で画情報を迅速、かり確実に得ることができる。請求項 4 記載の発明は、上記課題を解決するために、請求項3 **報知するのを不要にしてそのまま画情報を転送すること** 

時間を超えたときに、前配通信端末に報知の許可および **ち蝦幼の不許可が指定されたときに、数定時間に達する** までに同一の転送先に画情報を転送するとともに、設定 不許可を指定する個号を出力することを特徴としてい

きる。また、オペレータが転送先を変更する場合であっ アクシミリ装置等を指定することにより、受信文書を迅 があったことを報知するのを不要にしてそのまま画情報 **つしし悟道先か画信義を迅速、かり臨実に飾るいとがか** ても、通信装置から受信があったことを通信端末に直ち [0013] その語合、一定の暦湖先にオペレータが一 定時間(設定時間)居る場合等には、通信装置から受信 を転送することにより、何回も穀知を受けるのを不要に に知らせることができ、オペレータは最初の転送先のフ **恵、かつ確実に受取ることがたきる。** 

よって通信端末に数知することを特徴としている。その 場合、転送先の電話番号を音声によって通信端末に報知 することにより、オペレータが転送先を確認することが できる。このため、転送先を間違えてしまうのを防止す ることができ、画情報を指定する転送先に迅速、かつ臨 【0014】 請水項5記載の発明は、上記課題を解決す るために、前記制御手段は、転送先の電話番号を音声に 寒に転送することができる。

[0015]

リ装置の第1実施形態を示す図であり、静水頃1または アクシミリ装置であり、このファクシミリ装置 1 は一般 回線やISDN等の公衆網2を介して送信元のファクシ ミリ装置3、転送先のファクシミリ装置4および通信端 末としての携帯電話5に接続されている。なお、通信端 **末としたは、携帯陶器の色に一般の陶語器、ポケットペ** 図1において、1は本実施形態の通信装置を構成するフ 【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を図面に **風心いた戦略する。図1~3は本発明に保るシャクシミ** 5 記載の発明に対応している。まず、構成を説明する。 小母であっても良い。

**【0016】図2ttファクシミリ被倒1、3、4の構成** システム制御節1、画像メモリ8、記録部9、音声合成 部10、ダイヤルメモリ11、操作部12および転取部13から を示す図であり、全て同様の構成であるため、ファクシ ミリ装置1を中心に説明する。図2において、ファクシ **構成されており、これら各装置6~13はパス14によって** ミリ装置1は、網制御装置(以下、NCUという)6、 敏統されている。

\$

OM (Read Only Memory), RAM (Random Access Mem ory) 箏を有し、ROMに格納された制御プログラムをC [0017] NCU6は公衆網2に接続され、公衆網2 との間で序の被称・也都を行なっようになっている。シ ステム制御部7は、ファクシミリ装置1全体を制御する ものであり、CPU (Central Processing Unit)、R

PUで実行することにより、ファクシミリ装置1として

S

のシーケンスを行なうとともに、本発明の各種制御を実 行するようになっている。

€

報を一旦蓄積するものであり、ハードディスク、半導体 するようになっている。また、この記録的のは核光体ド ラムを有する電子写真方式のものであっても良い。音声 [0018] 画像メモリ8は迷信または受信される画情 メモリ俸かの権权されたいる。 配録街のはサーレク禁予 を利用したサーマル配録装置が使用されており、記録部 普通配験紙にインクシートを介して関接的に画像を配録 9 は受信した画情報を感熟記録業子に直接、あるいは、 合成部10は所定の音声信号を作成して生成するもであ

る留守モードキーが散けられており、留守モード散定手 テム制御部7は画情報を画像メモリ8に審徴した後、画 【0019】ダイヤルメモリ11は画情報の転送先の電話 モリ等から構成されている。操作部12はファクシミリ装 置1を操作するためのスタートキー、テンキー毎の各種 段を構成している。そして、この留守モードキーが操作 されると、留守モード時に画情報を受信したとき、シス 情報を受信したことダイヤルメモリ11に格納された電話 り、送受信命令等の各種命令が入力されるようになって いる。また、操作街12には不在時に留守モードを散定す 4年および数対先の電話番号を格施しており、半単体メ **吞号の携帯電話5に通知するようになっている。なお、** 版作キーが散けられており、操作キーのキー操作によ システム制御部7は制御手段を構成している。

て、システム制御街7は携帯電話5から画情報の転送先 711から電話番号を読み出し、また、格納されていない **によった携帯電船5に磐泊するようになっている。そし** ヤルメモリ11に格納されていた場合には、ダイヤルメモ 場合には、この電話番号をダイヤルメモリ11に格納する **一方で、この電話番号の転送先に画像メモリ8に蓄積さ** れた画情報を読み出して送信するようになっている。こ 音声の成的10に格徴された散波先の電話番号を示す音 を指定する信号が入力したときに、この電話番号がダイ [0020]システム制御部7は、この穀知に際して、 カンステム制御部714転送手段も構成している。

【0021】 就政部13社CCD (Charge Coupled Devic 取割13は、システム制御都7かちの指令によって原稿を **走査して原稿の画情報を読み取るようになっている。次** 12、図3のフローチャードに捕んごと画在数の情報も符 を説明する。なお、図3のフローチャートはシステム制 **関部のROMに格施され、CPUによって実行されるプ** の を利用したイメージスキャナが利用されており、航 ログラムである。

[0022] オペレータは、外出する前に操作部12の留 元) のファクシミリ装置 3 から画情報を受信すると (ス **弁ホードキーを権作して留中ホードを設定することがた** きるとともに、転送先の電話番号を操作部12によって設 定することができる。まず、特機状態で送信元(発信

特関平11-275286 テップS1、S2)、留守モードであるか否かを判別する

画情報を蓄積し、1 通信分の画情報の受信が終了したか イヤルメモリ11から外出先の携帯電話5の電話番号を記 ても記録的9を作動させずに、画像メモリ8に受信した **一夕を取り出して携帯電路5に対して音戸通知する(ス** 【0023】次いで、配録出力が終了したか否かを判別 る場合には、受信した画情報が画像メモリ8に蓄積され **吹いで、携帯電話5がオフフックして回線が接続される** し (ステップS5) 、配録出力が終了した場合には、受 ステップS1に戻る。一方、留守モードが設定されてい 否かを判別し(ステップS1)、終了した場合には、ダ と(ステップS9)、音声合成部10に格触された音戸デ (ステップS3)。 留守モードが設定されていないとき み出してNCU6によって発序する (ステップS8)。 後、記録部9によって記録出力する (ステップS4)。 には、受信した画情報を一旦画像メモリ8に蓄積した 信した記録浴みのデータをクリアして (ステップS6) チップS10).

F信号 (Dual Tone Matrix Frequency) によって予め設 いシアナウンスの後に、「予め格割されている権法先に る。いの際、オペレータが携帯電話5を操作してDTM 【0024】この際に、例えば、「受信があります」と 定されている転送先の番号に転送するか否かを判断し、 画情報を転送しますか」というアナウンスが行なわれ DTMF信号を送信する。

テップS12)、 当戸個子で「簡脳先の電話番号は123 れ、携帯電話らから入力したコマンドによって良いか否 かの判断を行ない (ステップS13)、 良いという確認が 【0025】この信号を受けて、転送先の変更があるか そのまま転送するコマンドを入力する。次いで、ダイヤ ルメモリ11に格納された転送先の電話番号を選択し(ス 否かを判別し (ステップS11)、 変更がない場合には、 -4567でよろしいですか」とアナウンスが行なわ とれた場合には、受信連絡を終了する。

【0026】欠いで、ダイヤルメモリ11に格能された階 て公衆期2を発呼し (ステップS14、S15) 、 転送先の 画像メモリ18内の転送済みの画情報を消去して(ステッ 送先のファクシミリ装置4を読み出してNCU6によっ 画像メモリ8に密稽された画情報の転送を開始し(ステ ファクシミリ装置4に接続されると(ステップS16)、 ップS11) 、甄琳が称了したときに (ステップS18)、 プS19)、ステップS1に戻る。 **\$** 

[0021] 一方、ステップSIIで転送先の変更が行な

先を避択してその電話番号を入力し (ステップS20、S 21)、電話番号の入力が終了すると、音声台成割10に格 紡された音声データを取り出して携帯電話5に対して臨 例えば、「変更された転送先の電話番号は123ー45 われる協合には、携帯電話5のオペワータが衝視の気法 67です」というアナウンスの後に、「この情脳先の毎 認のための音声通知する (ステップS22)。この際に、 20

そのまま転送先のファクシミリ装置4に転送することが をダイヤルメモリ11に格納した後、ステップ S14以降の し、この留守モード設定時に画情報を受信したとき、画 5に報知し、携帯粗酷5から画情報の転送先を指定する リ装置4に画情報を送伯するようにしたため、携帯電話 5 に画情報の受信があったことを直ちに知らせることが ると、外出先が一位の趙附かない趙合に、オペワータは 【0029】また、画像メモリ8に蓄積された画情報を た、仮送先の包括番号を音力によって携帯包括5に殺当 しているため、オペワータが転出先を強認するいとがで きる。このため、毎送先を間違えてしまうのを防止する ことができ、画情報を指定する転送先に迅速、かつ確実 【0028】女いで、被非和語からそれで良いという協 情報を画像メモリ8に警費した後、画情報を受信したこ とをダイヤルメモリ11に格納された国話格号の抜格電話 信号が入力したときに、指定された転送先のファクシミ できる。このとき、オペレータが携帯電話らを持ってい **最奇の転送先のファクシミリ装置4を指定することによ** できるため、従来のように配録紙に記録して再度額み取 るのを不要にでき、送伯元のファクシミリ装置3の配録 怒のコマンドが入力したか否かを判別し (ステップS2 3)、良いという確認がとれた場合には、この包括番号 フローを実行してステップSIに戻る。このように本実 り、受信文章を迅速、かつ確実に受取ることができる。 **極形類かは、 オペワータの不在時に留中モードを設定** 紙が無駄に消費されるのを防止することができる。ま に敷送することができる。

後、画像メモリ8内に画情報の一部を残して残りの部分 【0031】また、システム制御部7は、留守モード設 を削除するとともに、画情報の一部を送信することを通 2 契施形態を示す図であり、請求項2または5配載の発 第1実施形態と同様であるため、その構成は図1、2を 用いて説明する。本実施形態では、記録部9が受信した **定時に、画像メモリ8の谷母四パイトが所定値nパイト** 以下になったときに、受伯した画情報を配録部9によっ **て配録出力し、配録的9によって画情報を配録出力した 明に対応している。なお、本実施形態では、基本構成は 信端末に報知して転送先のファクシミリ装置4に送信す** 画情報を配録出力する配録出力手段を構成している。 るものである。

のファクシミリ装置3から画情報を受信すると(ステッ て安行されるプログラムである。また、図4では第1案 【0032】以下、図4のフローチャードに椥ひごん画 情報の転送方法を説明する。なお、図4のフローチャー トロシステム制御部のROMに格納され、CPUによっ **歯形態と回棋の処理を行なうステップには同一ステップ** 番号を付している。まず、待機状態で送信元(発信元)

(ステップS33)。 留午モードが設定されていない場合 S32)、留守モードであるか否かを判別する 5は、受信した画情報を一旦画像メモリ8に蓄積した 後、配録部9によって配録する(ステップS34)。

ップ S31に戻る。一方、留守モードが設定されている場 (ステップ 835) 、配録が終了した場合には、受信した **記録済みのデータをクリアして (ステップS36) 、ステ** 合には、画像データの残量がnパイト以上であるか否か 受信した画信報が画像メモリ8に蓄積されても配録部9 を作動させずに、受信した画情報を画像メモリ8に審徴 し、1通信分の画情報の受信が終了したか否かを判別し (ステップ 842) 、 株丁した協合には、ダイヤルメモリ ||から外出先の携帯電話5の電話番号を配み出してNC を判別し (ステップS37)、 nパイト以上の場合には [0033] 次いで、配録が終了したか否かを判別し U6によって発呼する (ステップS43)。

2

が接続されると(ステップS44)、音戸合成部10に格納 された音グデータを取り出して携帯電話5に対して音グ **通知する (ステップS45)。この際に、例えば、「受信** があります」というアナウンスの後に、「予め格納され スが行なわれる。この際、オペレータが携帯電話5を操 作してDTMF倍号によって予め設定されている転送先 【0034】次いで、携帯電話5がオフフックして回線 たいる 悟送先に 画情報を 悟送しますか」という アナウン の番号に転送するか否かを判断し、DTMF信号を送信

ន

否かを判別し(ステップS12)、以降は第1実権形態と 同様の処理を実行する。一方、ステップS37で画像メモ リ8の疫虫が n パイト以下であるものと出胚したときに は、画像メモリ8がオーバーフローする危険性があるた め、配録部9によって指定員(例えば、第1頁)以外の 耳を記録出力し (ステップS38) 、記録出力が終了した は、画像メモリ8から記録済みの画情報をクリアした後 (ステップS40) 、画像メモリ8に指定された頁の画情 [0035] この信号を受けて、転送先の変叉があるか か否かを判断して(ステップS39)、終了した場合に 数のみを格徴する (ステップS41)。

【0030】図4は本発明に係るファクシミリ装置の第

43)。 衣いで、携帯電話5がオフフックして回線が接続 【0036】欠いで、1通信分の画情報の受信が終了し は、ダイヤルメモリ11から外出先の携帯電話5の包括番 中を託み出してNCU6によって独厚する(ステップS たむ否かを判別し (ステップS42) 、 棒了した場合に

されると(ステップS44)、音声合成的10に格納された **宙ケゲータを取り出して携帯電話5に対して音炉通知す** る (ステップ S45)。

目のデータのみを転送しますか」というアナウンスが行 なわれる。この際、オペレータが携帯電話5を操作して [0037] この際に、例えば、「メモリがオーパーフ ローする危険があるのでデータを配録しました」という アナウンスの後に、「予め格納されている転送先に1頁 20

DTMF信号によって予め数定されている転送先の毎号 に転送するか否かを判断し、DTMF個号を送信する。

[0038] この信号を受けて、転送先の変更があるか **否かを判別し(ステップS12)、以降はステップS15~** |1では転送先のファクシミリ装置4に1頁目の画情報の みを送信する。このように本実拡形態では、留守モード 8内に1頁目の画情報を残して残りの部分を削除すると ともに、1頁目の画情報を送伯することを携帯電話5に **騒知して転送先のファクシミリ装置4に1頁目の画情報** り、次の適信を行なうことができない等の不具合が発生 クシミリ装置3から画情報を再送侶してもちうのを不要 数倍時に、画像メモリ8の谷虫ロベイトが形の値ロベイ ト以下になったときに、受信した画情報を配録前9によ **って記録出力し、画情報を記録出力した後、画像メモリ** を送信するようにしたため、画像メモリ8 がオーパフロ するのを防止するために、画像メモリ8がオーバーフロ 一する前に受信した画情報を配録出力して送信元のファ **一つた協信中かむったも協信終了を強態的に実施した** にして画情報を確実に受信することができる。

装置4に送信することにより、低送先のファクシミリ装 【0039】また、画像メモリがオーバーフローする場 合であっても、画情報の受信があったことを通信端末に 数知して、最低限の受信画情報を配送先のファクシミリ き、既泌先のファクシミリ装置4で画信報を出演、むつ 個4からでも画情報の送伯元の特定を行なうことがで 強寒に得ることができる。

第1 英栖形態と同様であるため、その構成は図1、2を 【0040】図5は本発明に係るファクシミリ装置の第 3 英施形態を示す図であり、請求項3または5配載の発 **思に対応している。なお、本実権形態では、基本権成け** が、携帯電話5に報知の許可および不許可を指定する信 **号を出力するとともに、携帯電話5から穀知の不許可が** 指定されたときに、以後の画情報の受信時から携帯電話 5 に報知を行なわずに同一の転送先のファクシミリ装置 用いて説明する。本実施形態では、システム制御部7 4に画情報を転送するようにしたものである。

(ステップS65)。

て実行されるプログラムである。また、図5では第1実 【0041】以下、図5のフローチャートに柏ムント画 悄報の転送方法を説明する。なお、図5のフローチャー トなシステム制御部のROMに格談され、CPUによっ **極形態と同様の処理を行なうステップには同一ステップ** のファクシミリ装置 3から画情報を受俗すると(ステン (ステップS33)。 留守モードが散定されていない場合 番号を付している。まず、特機状態で送伯元 (発伯元) プS51、S52) 、留守モードであるか否かを判別する には、受信した画情報を一旦画像メモリ8に蓄積した 後、配録部9によって記録する(ステップS54)。

R殿済みのデータをクリアして (ステップ S 56) 、ステ (ステップS55) 、配録が格丁した場合には、受信した [0042] 次いで、記録が終了したか否かを判別し

特開平11-275286

9

であるか0であるかを判別する (ステップS58)。この ップS51に戻る。一方、留守モードが設定されている場 合には、1通信分の画情報の受信が終了したか否かを判 **到し (ステップS57) 、終了した場合には、フラグが1** フラグは同一の低送先のファクシミリ装置に画情報を転 送するように指定した場合には1が立ち、異なる転送先 を指定した場合には0となる。

ずにステップS14以降の処理を実行して自動的に同一の 【0043】フラグが1の場合には、携帯電話を呼出さ **伝送先のファクシミリ装置4に画情報を低送する。** 

方、フラグが0の場合には、ダイヤルメモリ11から外出 フックして回線が接続されると (ステップS60) 、 <del>甘</del>戸 合成部10に格徴された音声ゲータを取り出して模様知語 先の棋帯電話5の電路番号を競み出してNCU6によっ て発呼する (ステップ59)。 次いで、携帯電話5がオフ 5 に対して由力菌当する (スケップS61)。

[0044] この際に、例えば、「受値があります」と いうアナウンスの後に、「予め格赦されている転送先に 回信報を転送しますか」というアナウンスが行なわれ

テップS64)、良いという確認がとれた場合には、衣通 **号を受けて、転送先の変更があるか否かを判別し(ステ** ップ S62)、変更がない場合には、そのまま転送するコ れた転送先の電話番号を踏択し(ステップS63)、音声 個号で「転送先の電話番号は123-4567でよろし カしたコマンドによって良いか否かの判断を行ない(ス る。いの際、オペアータが披帯気能らを操作してDTM F伯号によって予め設定されている転送先の番号に伝送 するか否かを判断し、DTMF信号を送信する。この信 **マンドを入力する。吹いで、ダイヤルメモリ!!に格枯さ** いですか」とアナウンスが行なわれ、携帯電話5から入 伯以降同一の転送先に画情報を送るか否かを判断する ន ဓ

【0045】この処理は音声合成部10に格納された音声 ンスを行ない、携帯電話5から同一であるか別であるの お、音卢伯号によるアナウンスが許可および不許可を追 データを取り出して携帯電話5に対して音戸通知、例え ば、「以後同一の伝送先に転送しますか」というアナウ かを示す信号が入力したことにより判断を行なう。な 如する個号に相当する。

ップ S14、S16)、 低法先のファクシミリ 装置 4に 接続 【0046】そして、同一である場合には、フラグ1を を飲み出してNCU6によって公衆網2を発序し (ステ ヤルメモリ11に格納された転送先のファクシミリ装置4 されると (ステップS16)、 画像メモリ8に替摺された 立て、同一でない場合には、フラグを0にした後、ダイ 画情盤の転送を開始し (ステップS17) 、 転送が終了し たとやに (スケップS18) 、 回飲メモリ18内の信が好や の画情報を消去してステップ S51に戻る。

【0041】一方、ステップ S62で転送先の変叉が行な われる場合には、携存電話5のオペレータが節規の伝送 S

69)、 包括番号の入力が終了すると、音声合成部10に格 先を避択してその電話番号を入力し(ステップS68、S **称された指力ゲータを敬り出して救帯和語らに対して確** 例えば、「変又された転送先の電話番号は123-45 61です」というアナウンスの後に、「この転送先の番 怒のための音声通知する(ステップS10)。 この際に、 **号で正しいでしょうか」というアナウンスが行なわれ** 

をダイヤルメモリ11に格秘した後、吹通伯以降同一の転 【0048】 衣いで、携帯電話からそれで良いという確 **窓のコマンドが入力したか否かを判別し(ステップS1** 1)、良いという確認がとれた場合には、この電話番号 送先に画情報を送るか否かを判断し(ステップS65)、 **判断結果に描んごたステップS66以降のフローを映作す** 

たときに、以後の画情報の受信時から携帯電話5に殺知 にししり、配送先た画情報を迅速、から確実に得ること [0049] そして、ステップ S66またはステップ S67 とを執知せずに同一の転送先に画情報を送るか、オペレ **一タに受怕があったことを報知した後、転送先の確認を** 行なご慰御を行なご。このように本実権形態では、栽帯 するとともに、携搭包括5から報知の不許可が指定され を行なわずに同一の領法先にファクシミリ被置4に画情 タが長時間居る場合等には、ファクシミリ装置 1から受 **によって置換されたフラグに基心にてステップS58の判 断を行ない、 熱柱包結5のオペアータに安値があったい** 電話5に報知の許可および不許可を指定する伯号を出力 **熱を簡肪するようにしたため、一定の敷肪先にオペワー** 伯があったことを殺知するのを不要にしてそのまま画情 報を転送することにより、何回も報知を受けるのを不要

[0050]なお、本実紘形態では、同一の転送先に画 情報を転送する制御を解除するためには、操作部12に転 リ装置の第4実植形個を示す図であり、請求項4または 送制御解除キーを設けてこのキーを操作したり、留守モ **ードを解除すれば良い。図6は本発明に係るファクシミ** 甚本権成は第1実施形態と同様であるため、その構成は 5 野戯の発明に対応している。なお、本実施形態では、 図1、2を用いて説明する。

【0051】本実拡形値では、システム制御街7が、模 情報を転送するとともに、設定時間を超えたときに、携 帝電話5に殺知の許可および不許可を指定する信号を出 力するものである。以下、図6のフローチャートに甚ら 特徴語らから熱対の不許可が指定されたときに、設定時 関に達するまでに同一の転送先のファクシミリ装置に画 いて画情報の伝送方法を説明する。

処理を行なうステップには同一ステップ番号を付してい 【0052】なお、図6のプローチャートはシステム制 **御雋のROMに格被され、CPUによって実行されるプ** ログラムである。また、図6では第1架施形態と同様の

2) 、留守モードであるか否かを判別する(ステップS8 **た画情報を一旦画像メモリ8に装積した後、記録部9に** まず、符機状態で送旧元(発伯元)のファクシミリ 3)。留守モードが設定されていない場合には、受信し 装置3から画情報を受信すると(ステップS81、S8 よって配録する (ステップS84)。

テップ S86)。 一方、留守モードが設定されている場合 には、1通信分の画情報の受信が終了したか否かを判別 し (ステップS81) 、株丁した場合には、オペレータが 予め設定した制限時間(数定時間)内であるか否かを判 別する (ステップS88)。この制限時間は例えば、午後 (ステップS85) 、配録が終了した場合には、受信した 記録液みのデータをクリアしてステップ SB1に戻る (ス 12:00である場合には、1200というように指定 【0053】次いで、記録が終了したか否かを判別し

U6によって発呼する(ステップ89)。次いで、携帯電 に同一の転送先のファクシミリ装置4に画情報を転送す 11から外出先の携帯電話5の電話各号を競み出してNC 話らがオフフックして回染が接続されると(ステップS 90)、音戸合成部10に格納された音戸データを取り出し いうアナウンスの後に、「予め格納されている転送先に [0054] そした、動邸時間内かめれば、栽帯観船5 を呼出さずにステップS14以降の処理を実行して自動的 る。一方、制限時間を過ぎた協合には、ダイヤルメモリ [00:55] この際に、例えば、「受旧があります」と て携符段語5に対して音声通知する(ステップS91)。

れた気法先の観話物与を過択し(ステップS93)、音声 る。この際、オペレータが携帯電話5を操作してDTM F伯号によって予め設定されている転送先の番号に転送 するか否かを判断し、DTMF信号を送信する。この信 号を受けて、転送先の変更があるか否かを判別し (ステ ップ 592)、変更がない場合には、そのまま転送するコ マンドを入力する。吹いで、ダイヤルメモリ11に格納さ 信号で「飯送先の電話番号は123-4561でよろし いですか」とアナウンスを行なった後、「以後同一の転 画情報を転送しますか」というアナウンスが行なわれ 送先に転送しますか」というアナウンスを行なう。 8

【0056】次いで、携帯電話5から入力したコマンド **施するか否かの判別を行なう(ステップS95)。この判** ウンスを行なった後、携帯電話5から出力されたDTM F倍号によって制限時間の設定をするか否かの判断を行 良いという確認がとれた場合には、制限時間の設定を実 別に際しては、音声合成部10に格納された音声信号によ **って、「例えば、制限時間を設定しますか」とういアナ** によって良いか否かの判断を行ない (ステップS94)

【0057】そして、携帯電話5から制限時間の設定を しないという信号が出力されると、この信号を受けて時 間制限を設定しないと判断した場合には、ステップ S14

20

以降のフローを実行して自勧的に指定された転送先に画

いう指定時間を示す値号が入力すると、この時間を設定 情報を送信する。また、携帯電話5がDTMF倡号によ って制限時間を設定するという信号を出力すると、この 個号を受けて音声合成部10で「何時何分まで制限します る。携帯電話からDTMF偕号によって「1200」と した後(ステップS96)、ステップS14以降のフローを か」という音声信号を取り出して携帯電話5に送信す **東行して自動的に指定された転送先に画情報を送侶す**  [0058] また、ステップS92で転送先の変更が行た 先を選択してその電話番号を入力し(ステップS97、S 38)、 電話番号の入力が終了すると、音声合成部10に格 符された音声ゲークを取り出して携帯観筋5に対して強 われる場合には、携帯電話5のオペレータが新規の転送 例えば、「変更された転送先の電話番号は123ー45 61です」というアナウンスの後に、「この転送先の番 怒のための音が面当する(ステップS99)。 この際に、 **身で圧しいでしょうか」というアナウンスが行なわれ** 

をダイヤルメモリ11に格納する。また、この後、「以後 るか否かの判別を行なう (ステップ S95)。 以後は、ス [0059] 吹いた、枕杵曳筋からそれで良いという臨 **駆のコマンドが入力したか否かを判別し(ステップS10** 同一の慎治先に慎治しますか」というアナウンスが行な 3)、良いという確認がとれた場合には、この電話番号 確認のコマンドが入力したか否かを判別し、よれで良い という確認がとれた場合には、制限時間の設定を実施す われ、ステップS100で携茶電話からそれで良いという テップS96以降の処理を実行する。

までに同一の転送先のファクシミリ装置4に画情報を転 送するとともに、設定時間を超えたときに、携帯電話5 とにより、何回も報知を受けるのを不要にしつ心転送先 [0060] このように本実施形態では、携帯電話5か ち蝦却の不許可が指定されたときに、散定時間に強する **一角の骸泌先にポペワークが一角時間(敷定時間) 困る** 場合等には、ファクシミリ装置 1から受信があったこと を報知するのを不要にしてそのまま画情報を転送するこ に報知の許可および不許可を指定するようにしたため、 で画情報を迅速、かつ確実に得ることができる。

[0061]また、オペレータが転送先を変更する場合 5。 なお、本実施形態では、自動転送時間内に転送先の であっても、ファクシミリ装置 1 から受信があったこと は最寄の転送先のファクシミリ装置4を指定することに **に対した携帯電話5からDTMF信号によった仮更また** を被許聞話5に直ちに知むせることがなき、ナペフータ 配話番号の変更をしたいときには、ファクシミリ装置 1 より、受信文書を迅速、かつ確実に受取ることができ は取消しが可能である。

英田平11-215286

8

ることができる。このとき、オペレータが携帯電話等の 通信端末を持っていると、外出先が一定の場所でない場 合に、オペレータは最春の転送先のファクシミリ被置等 【発明の効果】請求項1配載の発明によれば、通信装置 に画情報の受信があったことを通信端末に直ちに知らせ を指定することにより、受信文告を迅速、かつ確実に受 取ることができる。 【0063】また、画像メモリに蓄積された画情報をそ に配録紙に配録して再度読み取るのを不要にでき、送僧 元の通信端末の配録紙が無駄に消費されるのを防止する ことができる。 静水項 2 記載の発明によれば、画像メモ リがオーパフローすると、通信中であっても通信終了を 強制的に実施したり、次の通信を行なうことができない **毎の不具合が発生するため、画像メモリがオーバーフロ 一する前、すなわち、画像メモリの容量が所定値以下に** なったときに、受信した回情報を配録出力して送信元か ら画情報を再送位してもらうのを不要にして画情報を確 のまま転送先に転送することができるため、従来のよう 実に受怕するためである。

[0064] また、画像メモリがオーパーフローする母 合であっても、画情報の受信があったことを通信端末に 報知して、最低限の(一部の)受俗画情報を転送先に送 **信することにより、転送先からでも画情報の送信元の特** 定を行なうことができるようにして、転送先で画情報を **迅速、かり臨実に飾ることができる。暗水瓜3貯穀の乾** 即によれば、一定の情法先にオペレータが安時間困る協 合等には、通信装置から受信があったことを頼知するの を不要にしてそのまま画情報を転送することにより、何 回も報知を受けるのを不要にしつり、転送先で画情報を 出滅、かつ臨実に得ることができる。請求頃4配戯の発 **即によれば、一定の骸送先にオペアータが一定時間(数** とを頼知するのを不更にしてそのまま画情報を転送する ことにより、何回も穀知を受けるのを不要にしつつ転送 定時間)居る場合等には、通伯装置から受怕があったこ 先で画情報を迅速、かつ臨実に得ることができる。

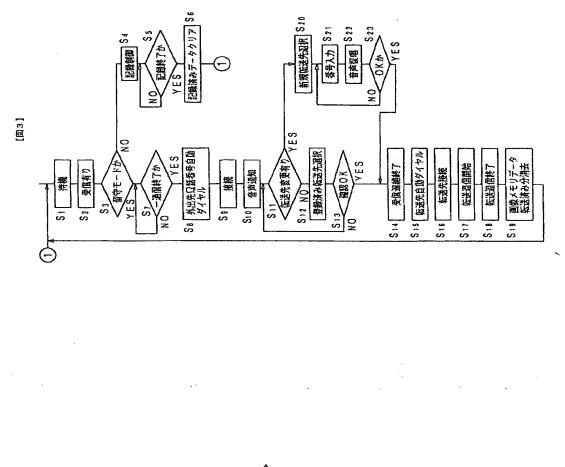
【0065】また、オペレータが転送先を変叉する場合 であっても、遠信装置から受信があったことを通信端末 に向ちに当らせることができ、オペワータは安布の殷淑 先のファクシミリ装置等を指定することにより、受旧文 者を迅速、かつ確実に受取ることができる。 請求項5配 戦の発明によれば、転送先の電話番号を音戸によって通 **信端末に載知することにより、オペレータが転送先を確 駆することができる。このため、転送先を関迎えてしま** うのを防止することができ、画情報を指定する転送先に 迅速、かつ確実に転送することができる。

[図面の簡単な説明]

[図1] 本発明に係る通信装置の第1英粒形態を示す図 であり、その通信システムの概念図である。

【図2】第1 実施形態の通信装置の1例であるファクシ ミリ装置のプロック図である。

[0062]



明明 776%

送信元のファクシミリ装置 転送先のファクシミリ装置

【図3】 第1 実施形態の画情報の転送手順のフローチャ

ートである。

【図4】本発明に係る通信装置の第2実施形態を示す図であり、その画情報の転送手順のフローチャートであ

携帯電話 (通信端末)

NCC

9

【図5】本発明に係る通信装置の第3実施形態を示す図

であり、その画情報の転送手順のフローチャートであ

システム制御部 (制御手段、転送手段)

記錄都 (配錄出力手段)

回像メモリ

操作部(留守モード散定手段)

10 11 12 13 14

ダイヤルメモリ

音声合成部

[図6] 本発明に係る通信装置の第4実施形態を示す図

であり、その回情報の転送手順のフローチャートであ

[図2]

[図1]

[你号の説明] 1 ファクシミリ装置 ファクシミリ貸四

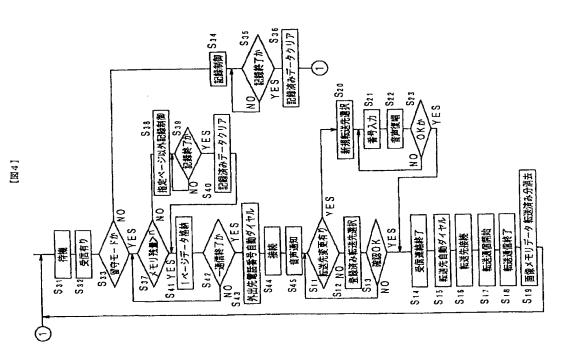
**比照** 

4AC

特開平11-275286

ا ت

1 1 -



番号入力 S98 本サンカー S98 本サンド [図6] S92 标送先変更有的 YES 外出先電話番号自動ダイヤル 豊録済み転送先選択 制限時間設定実施が SIS「転送先自動ダイヤル 音声通知 転送先接続 Sign SIA S17

フロントページの続き

(51) Int. Cl. ° H 0 4 N 1/32

觀別記号

F1 H04B 7/26

109L